

Ref. No. 2014CBV02(F)

評価日：平成26年7月29日～30日

運輸安全マネジメント評価報告書（第3回）

事業者名称：
濃飛倉庫運輸株式会社

評価実施場所：
岐阜県岐阜市橋本町2丁目20番地

代表者氏名：
代表取締役社長 小澤 義行

評価チームリーダー：
中部運輸局 自動車交通部
自動車監査官 加藤 正光

総評：（詳細項目は別添参照）

御社における安全管理体制の構築及び改善に関する取組みについては、経営トップをはじめ社員が一丸となって安全の確保に取り組んでおり、以下に掲げる項目については、見直し・改善がなされており、評価します。

- ① 経営トップがリーダーシップを発揮するとともに、現状の課題を的確に把握し、具体的な指示等を行うことにより、安全管理体制の充実・強化に主体的に関与していること
- ② 情報伝達コミュニケーションの確保において、ボトムアップコミュニケーションが有効に機能していること
- ③ 重大事故等の対応においてPDCAサイクルが有効的に機能していること
- ④ 技能要員の教育においてPDCAサイクルが有効的に機能していること
- ⑤ 前回評価の助言に対応した内部監査を実施されたこと

一方、安全文化の構築と定着を図り、安全性を段階的に向上させるためには安全管理体制の継続的な改善及び不断の取組みが不可欠であることから、引き続き、経営トップが主体的にかつ積極的に関与して頂くとともに、以下に掲げる項目について、更なる取組みを講じることについて、ご検討下さい。

- ① 安全重点施策にあたり、マネジメントレビュー等を活用し、輸送現場の安全に関する課題を具体的かつ詳細に把握するとともに、現場の声を汲み上げるなどして検証され、例えば実現達成可能な指標を導入するなど、安全重点施策の充実・改善を図られること
- ② インプット情報の充実を図り、アウトプット情報として、従業員が理解しやすく、輸送の安全性の向上への熱意・モチベーションが高まるような目標を取り入れるなど、更に効果的なマネジメントレビューを実施されること

署名：評価チームリーダー（自動車監査官）

加藤 正光

備考

運輸安全マネジメント評価（第1回）：平成20年5月26日
運輸安全マネジメント評価（第2回）：平成23年6月23日～24日